



## 健康と温泉フォーラム第82回月例研究会

- 共催：一般財団法人日本健康開発財団 特定非営利活動法人日本スパ振興協会  
非営利団体地域活性学会 特定非営利活動法人健康と温泉フォーラム  
併催：温泉療法医認定研修プログラム（1単位）
- 日時：2018年11月15日（木）13:30～16:45 受付 1300～
- 会場：東京文化会館4階大会議室（JR上野駅公園口前）定員：70名
- 参加費 2,000円（会員：地域活性学会、日本健康開発財団、日本スパ振興協会、温泉療法医会 健康と温泉フォーラム） 3,000円（一般参加者）無料（学生・報道関係者）
- セッションテーマ 「ローカルインバウンドの極めて一感交（かんこう）と温泉」
- 講師 アダム・フルフォード（有限会社フルフォード エンタープライズCEO）



NHK関連団体のランゲージコンサルタントとして、「英語でしゃべらナイト」「スーパープレゼンテーション」など英語監修、数々の番組の翻訳、ナレーション、制作に従事している。また、外国人観光客向け観光戦略やシステムづくりのアドバイザーとしても活躍。「日本全国の老人の記憶を世界遺産へ」というプロジェクトを進めている。在日37年。現在、地域活性学会をはじめ、日本各地で、異文化コミュニケーターとして活躍している。

- 特別コメンテーター 江頭 実（熊本県菊池市長）



熊本県菊池市出身 菊池高校、九州大学経済学部卒業  
富士（現みづほ）銀行入社。ドイツ、ニューヨーク、ロンドン、スイスなど主に海外部門に従事。スイス富士銀行社長、ロンドン支店長を歴任後、ソフトバンク入社  
平成25年4月 菊池市長就任（現在2期目）

### ■ セッション要旨

講師のアダム・フルフォード氏は英国出身でNHK番組の英語監修を務めるなどメディアで活躍されている。最近は、国や自治体からの依頼で、日本のローカルツーリズムにおけるインバウンドの開発に携わり、地方活性化と国際化に積極的に取り組んでいる。2014年から2016年まで山形県の飯豊町中津川の地域コンサルタントを務めた。現在、地方のお年寄りの個人的な思い出を記録し、地域に刻まれた見えない無形文化の収集に情熱を傾けている。こうして地域遺産として長年伝承された智慧や風習を取り込み、新たに磨きをかけ、地域固有の文化や慣習を、訪れる旅行客と共有すること。KANKO（観光）というよりKANKO（感交：かんこう）という感情や思いの交換を通して、懐かしい、しかしながら見過ごしてきた大切な心を潤すことの大切さを提唱している。

先日、フルフォードさんとお話しする機会があり、温泉体験も「自然と感交することに通じ」「温泉はまさに人と人、人と自然、人と地域文化を体験し交流する”感交”の場だ」と彼と小職は大いに盛り上がった。さらに今回、本当に偶然に、熊本県菊池市の江頭市長をお迎えして、ローカルインバウンドの取り組みの実際を特別コメンテーターとしてお話しいただくことになり、セッションのプラットフォームがさらに充実し、クロスカルチャーセッションとして、大きな期待が寄せられています。（文責 合田）

### ■ プログラム（予定）

1330 講演

1500 休憩

1515 特別コメンテーター 質疑応答

1645 閉会



E-mail [info@onsen-forum.jp](mailto:info@onsen-forum.jp) Fax 03-6804-8575

NPO法人健康と温泉フォーラム事務局宛

**参加申込書 (各□に✓お願いします)**

第82回月例研究会 (2018年11月15日 (木) ) に出席します。

**●お名前 (複数可)**

- 
- 

- 所属会員**  健康と温泉フォーラム  地域活性学会  
 日本スパ振興協会  日本健康開発財団  
 温泉療法医会  その他

**●団体・組織名**

**●住所** 〒

**●連絡先** TEL **FAX**  
E-mail **携帯□**

**●お問い合わせ** 特定非営利活動法人健康と温泉フォーラム

電話/FAX 03-6804-8575 E-mail [info@onsen-forum.jp](mailto:info@onsen-forum.jp)

**○ 第83回月例研究会「人工知能と温泉！」 / 平成30年忘年会**

- ・日時 平成30年12月21日 (金) 1330~1645 1730~ (忘年会)
- ・会場 東京文化会館4階大会議室 (定員70名) 忘年会 (近くのレストラン)
- ・テーマ 「人工知能AIと温泉」
- ・講師 桜田一洋

国立研究開発法人理化学研究所科学技術ハブ推進本部、医科学イノベーション推進プログラム副プログラムディレクター、健康医療データー多層総合プラットホーム推進グループ、グループディレクター、理学博士

